

平成29年10月24日

関東畜産学会会員 各位

関東畜産学会会長 坂田亮一

11月10日の大会案内を本年8月にお送りし、お蔭様で発表エントリーがありました。

以下、プログラムをお送りします。ご参加宜しくお願い申し上げます。

なお準備の都合上、大会・交流会出席、その際の送迎バスの利用希望などを今月中に下記、学会事務局宛にメールにてお伝え下さい。

平成29年度関東畜産学会 第72回大会のお知らせ

テーマ：地方発の畜産物の発展を考える

日時：平成29年11月10日（金） 午前10時半（10時開場）～午後5時

会場：公益社団法人 全国食肉学校 <http://www.fma.ac.jp/index.html>

（〒370-1103 群馬県佐波郡玉村町大字樋越1794

TEL:0270-65-2571 FAX:0270-65-9274）

*高崎駅東口ヤマダ電機前から会場まで専用バス運行 9時半と11時半発（所用約30分）

参加費：会員1,000円、非会員2,000円、学生 無料

[プログラム]

開会の辞

10:30～10:40 大会会長挨拶（全国食肉学校 徳永克弘学校長）

基調講演

10:45～11:15 「群馬県の畜産」小茂田匡央（群馬県農政部畜産課）

11:20～11:50 「基礎を学んでこそ技能者が育つ」古澤栄作（全国食肉学校 教務部）

昼食

12:00～13:15 役員会開催，全国食肉学校内の案内

口頭発表とポスター発表

13:20～14:35 口頭発表（5題）

14:35～15:25 休憩，ポスター発表コアタイム

15:25～16:00 口頭発表（3題）

口頭発表（○発表者，発表時間12分、討論時間3分）

1. ○皆川修平，瀬瀬雄三（明治大学農学部）1産次の分娩時生存産子数と離乳後初回交配日数でグループ化した母豚の生涯の繁殖成績
2. ○野神宏太，瀬瀬雄三（明治大学農学部）APCモデルを用いた国内の養豚生産農場における分娩時生存産子数の12年間の変化
3. ○深淵諒也，瀬瀬雄三（明治大学農学部）未經産豚時の再種付け回数コホートに基づく生涯にわたる繁殖成績の追跡研究

4. ○日野 翔¹, 根本聡実¹, 鬼沢直樹², 白谷浩之¹, 足立憲隆¹ (¹茨城県畜産センター, ²茨城県農林水産部畜産課) 分娩前後の乳用牛における血中グルタチオン濃度と肝機能の関係
5. ○小島志穂¹, 柳原奈央子², 君島健太², 長田雅宏¹, 小澤壮行¹ (¹日本獣医生命科学大学システム経営学教室, ²日本獣医生命科学大学大学院) カウコンフォートへの配慮は乳量に影響する
6. ○笹木 俊, 佐田竜一, 菅沼京子 (栃木県畜産酪農研究センター) 豚肉と食肉製品の嗜好性に関する検討
7. ○金子桜子, 竹田志郎, 坂田亮一 (麻布大学大学院獣医学研究科) ジビエの有効利用ー消化酵素処理における生理活性機能の向上ー
8. ○戸塚里子¹, 坂田亮一² (¹ママの働き方応援隊群馬西校, ²麻布大学獣医学部) 子育て期における食肉加工品の利用について

ポスター発表 (○発表者)

1. ○S. Ishii¹, L. Ribeiro², T. Gipson², R. Merkel², S. LeShure² (Graduate School of Bioresource Sciences, Nihon University¹, E (Kika) de la Garza American Institute for Goat Research, Langston University, Iowa²) Lying and standing behavior of dairy goats in confinement or grazing
2. ○山野はるか¹, 小泉聖一², 小林信一² (¹日本大学大学院生物資源研究科, ²日本大学生物資源科学部) 茨城県大子町における繁殖和牛農家の現状と放牧、耕作放棄地利用およびWCSに関する意向調査
3. ○吉田詞温¹, 小林信一², 小泉聖一² (¹日本大学大学院生物資源科学研究科, ²日本大学生物資源科学部) 牛肉輸出の現状と課題
4. ○岩渕仁美¹, 柳原奈央子², 君島健太², 長田雅宏¹, 小澤壮行¹ (¹日本獣医生命科学大学システム経営学教室, ²日本獣医生命科学大学大学院) 性選別技術の選択的利用に関する研究ー地域性と品種を中心としてー
5. ○柳原奈央子¹, 長田雅弘², 小澤壮行² (¹日本獣医生命科学大学大学院, ²日本獣医生命科学大学) 一日一回搾乳の導入意欲がある酪農家は労働の負担軽減を希望する
6. ○田村洋次¹, 内田雄祐², 神藤学¹, 土橋宏司² (¹山梨県畜産酪農技術センター長坂支所, ²現 山梨県畜産課) 米ぬか給与による生乳中の脂肪酸組成の変化
7. ○谷田部 佑, 瀬瀬雄三 (明治大学農学部) ポルトガルの大規模生産農場における離乳後初回交配日数が4, 5日であった雌豚の生涯成績と次産次の繁殖成績
8. ○遠藤なつ美, 山根大明, 田中知己 (東京農工大学獣医臨床繁殖学研究室) ACTHの反復投与がヤギの卵巣機能および被毛中コルチゾール濃度に及ぼす影響
9. ○中安健輔¹, 清水正太郎¹, 川上美智子², 桑原隆明², 宮口右二³ (¹茨城県畜産センター肉用牛研究所, ²茨城キリスト教大学, ³茨城大学農学部) ウエットエイジング並びに加熱による科学的变化が牛肉のおいしさ向上に及ぼす影響(GCMSを用いた加熱和牛肉の香気成分分析)
10. ○小林正人, 佐々木整輝, 内山京子 (一般社団法人家畜改良事業団家畜改良技術研究所) 焼き牛肉に含まれる揮発性物質の焙焼条件による変化
11. ○保倉勝己¹, 遠藤美杉¹, 望月 栞¹, 中川裕子² (¹山梨県畜産酪農技術センター長坂支

平成29年10月24日

所、²山梨学院短期大学食物栄養科) 放牧肥育したホルスタイン種去勢牛肉の機能性成分と食味調査

12. ○川上真理奈, 大橋りか, 時田昇臣 (日本獣医生命科学大学動物科学科) 野生イノシシおよびニホンジカ肉の機能性アミノ酸
13. ○梅津敬太郎, 竹田志郎, 坂田亮一(麻布大学大学院獣医学研究科) 動物性タンパク質由来酵素分解物の加熱食肉製品の発色および保水性への影響について
14. 小林祥子, 竹田志郎, ○坂田亮一(麻布大学大学院獣医学研究科) アルカリ処理によるソーセージケーシングの軟化

総会

16:10~17:00 優秀発表者表彰 (学生5名), 閉会の辞など含む

交流会

17:00~18:50 全国食肉学校内の食堂ホール

*会場から高崎駅までバス運行 17時と19時発

注1: 当日の準備のために、大会と交流会の出欠の返信をメールにて今月中にお伝え下さい。口頭発表者は、当日お昼までに受付にてデータを入力して下さい。

注2: 交流会参加費: 一般3,500円, 学生2,500円の予定, 優秀発表者は招待します。

注3: 駐車場は会場構内にありますが、交流会に参加される方はバスを大いにご利用下さい。

注5: 講演要旨集は当日配布します。学会誌第67巻第1号(本年中に発行予定)にあらためて要旨を掲載し、お届けします。

*年会費の支払いをまだお済みでない方は、下記振込先にお問い合わせ致します。

- 郵便局振替口座: 口座名; 関東畜産学会
口座番号; 00160-1-441272

もしくは

- 銀行振込口座: 口座名; 関東畜産学会 会長 坂田亮一
横浜銀行 上大岡支店 店番: 322 普通 口座番号: 6244731

振込みの時は、お手数ですが何年度分かがご記入をお願い致します(郵便振替の場合)。

◎今回電子メール以外の方法でこの通知を受け取られた会員の方は、お差支えなければ、メールアドレスをお伝え下さい。今後会員の方への連絡円滑化のために、ご協力をお願い致します。宛先は下記の竹田志郎、もしくは坂田亮一(sakata@azabu-u.ac.jp)です。